

ピアノデュオ・ドゥオール デュオセミナー

Piano Duo Du'or Duo Seminar

大舞台で2台の音を浴びる 超贅沢な4日間!

文・写真◎編集部 竹中節恵



夏休みも終盤の8月25日。この日「彩の国さいたま芸術劇場」の音楽ホールには2台のピアノが向かい合わせに並べられ、何とこの大舞台で2台ピアノのレッスンが行われていた!

その正体はピアノデュオ・ドゥオールのお二人による「デュオセミナー」。まず驚くのは、劇場の音楽施設のほぼ全面がこのセミナーで貸し切られているため、ホール内にある6部屋の練習室と、音楽ホールでのレッスンを行き来し、うまく利用すれば一日中どこかでピアノが弾けるとのこと。「デュオを組む相手がいない……」なんて心配はご無用。ご友人やいつものパートナーと一緒に参加する「デュオ組」と、決まったパートナーがいなくてもドゥオールとデュオを組んで一緒に舞台上で「ドゥオール組」を選べる。そんな参加形態も話題を呼び、参加者も小学生から、大学生、主婦の方まで、関西から受講しにくる方もいて幅広いデュオ仲間が集う。

そして何よりドゥオールのお二人を始めとする錚々たるピアニストが度々コンサートを行う「彩の国さいたま芸術劇場



2台ピアノの練習室も完備!



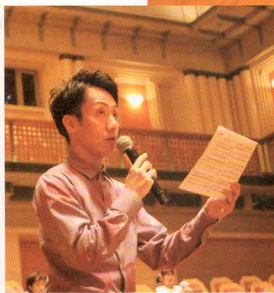
舞台上で白熱のレッスン

「天井を見ごらん。すごく綺麗だよな。この景色に音を飛ばしましょ」そう優しく反対側のピアノに座る生徒に語りかけるのは白水芳枝先生。藤井隆史先生は

客席から「この和音の中のバランスを、もう少し考えてみよう」と的確に指示。こうして客席からの聞こえ方や、音量のバランスを客観的に教えてもらえるのはデュオにとつて最も重要であろう。2台で奏でられるモーツァルトのソナタK545は、聴きなじみのあるものからガラリと華やかに、迫力と満足感に満ちた演奏が繰り広げられる。やはり2台のパワーは圧巻だと改めて感じる。

今回「ドゥオール組」で参加した清水知子さんに話をうかがうと「前から連続弾などはやっていたんですが、人に聴いてもらって良いなと思ってもらえるような演奏ができてきた。ゼリナマを抱えていました。そんな時このセミナーを知って、一人でも参加できるとのことに参加しました。人前での演奏の機会がほしいと思っ

ていましたし、デュオで楽しみながら弾けるっていいのが良いです。しかもドゥオールさんという鉄壁のパートナーがいるので安心して弾かせていただ



いています！本番に向けて大舞台でデュオの練習ができてすごく幸せです。この楽しい気持ちでコンサートでも表現できればいいなと思います」とセミナーをとっても楽しんでおられます。

ドゥオールのお二人は、「奏者もお客様も音の洪水に埋もれがちなピアノデュオにおいて、レッスン、リハ、コンサ



大舞台の響きを体感

ト全てを音響が魅力の音楽ホールでできるといことは、ホールの中の音から必要な音を聴き分ける、その音を自分の指で創るということを学べるのがこのセミナー。一番の魅力でもあります。響きが心地良く、3日間10時~21時までのレッスンでも疲れないのです！皆様のおかげで第2回が修了しエネルギーを出し切った感はありませんが、その後の受講生皆さんの喜びに満ちた声を聞かせていただき、私たちは幸せです！何よりこの4日間の皆さんの音の成長は感動的でした。彩の国がピアノデュオの魅力をいたる日まで、もっと多くの方に聴いていただけるよう、アイデアを出し合いながら進化して参りたいと思います」と語った。

最高の環境で朝から晩までデュオに没れるこのセミナー。来年はあなたも参加してみませんか？

